

事業者名	社会福祉法人 開拓				
施設の種類	知的障害児通園施設				
建築施設名	児童発達支援センター・銀河鉄道				
写真					
所在地	千葉県八街市八街に66-3				
建築した施設の特長	<p>駅前広場には、四季折々の花々が咲き、取り巻く実のなる木々などの豊かな自然に抱かれて、「光と風と木の香り流れる」児童発達支援センター・銀河鉄道の木造2階建駅舎。</p> <p>①全館冷暖房完備。特に、訓練室(教室)と遊戯室は床暖房完備。感染症予防に寄与し、部屋そのものが、療育機能を発揮している。</p> <p>②防火対策として、スプリンクラーを完備。</p> <p>③教室と遊戯室は、特別仕様のガラス戸(光が和らいだり輝いたり、銀河鉄道の列車に乗って、宇宙へ向かっているよう。)が幻想的。</p> <p>④教室と訓練室には、様々な療育機能を充実させるために、機能的な吊り格子が下がり、創造的な遊びなどを創出している。</p>				
利用状況	運用月	療育支援施設の稼働日数	延べ利用児童数(人)	相談支援の実施日数	延べ利用者数(人)
	平成27年4月	21	0	21	12
	平成27年5月	18	18	18	18
	平成27年6月	22	80	22	25
	平成27年7月	22	167	22	165
	平成27年8月	19	179	19	230
	平成27年9月	19	260	19	50
	平成27年10月	21	307	21	56
	平成27年11月	19	290	19	70
	平成27年12月	19	342	19	180
施設で行う活動内容	<p>9:00登園・バイタルチェック、9:30朝の集い、10:00個別療育・遊び、11:45昼食準備・昼食、13:00集団療育・遊び、15:00おやつ・遊び、16:00帰りの集い、16:30降園という一日の流れとなっている。</p> <p>また、嘱託医の指導をいただき、子どもたちにきめ細かく対応するために、各種の療育活動が展開している。(子どもの行動の特徴をつかむ。子どもにわかる伝え方をする。得意なことや興味があることに注目する。自己肯定感をほぐすことなどを中心に療育を展開している。)特に、駅舎周辺の「開拓の畑」などで子どもたちと育てた野菜の収穫を行い、収穫の喜びとその野菜を給食に使う「食育」活動に活用することなどが特徴である。</p>				
利用者等の声	<p>* 銀河鉄道に通うようになって、本人から相手の目を見て話したり、話しかけるようになった。</p> <p>* 銀河鉄道に入ってから「待つ」ということを覚え、スーパーに行ってもちゃんと待ったりして助かる。銀河鉄道に通ってから、出来ることがたくさん増えて、とても嬉しく思う。</p> <p>* 一人で何かをすることが多かったが、銀河鉄道に入って、友達と一緒に遊ぶことが増えてきてよかった。</p>				
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/koueki/h26/pdf/26-2-011.pdf				